



船長・船橋当直者が注意すべき事項

- 居眠り運航防止策の徹底と常時適切な見張りの励行
- 国際VHF(ch16)の常時聴守
(他局からの呼出しがわかるようボリュームをあげておきましょう。)
- 自動操舵装置と船橋航海当直警報装置の適正使用

船舶所有者・運航者が配慮すべき事項

- 無理のない運航計画と配船配乗計画の策定
- 居眠りを防止するための船内環境づくり



眠気を
催さないために!!



第六管区海上保安本部、海難防止強調運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議、(公財)海上保安協会広島地方本部、(公社)瀬戸内海海上安全協会、(公社)瀬戸内海小型船安全協会、中国総合通信局、四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会事務局広島事務所、中国地方海運組合連合会、四国地方海運組合連合会、全日本海員組合中・四国地方支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部、船員災害防止協会四国支部、NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会中国地方本部、NPO法人 パーソナルウォータークラフト安全協会四国地方本部

*このリーフレットは、(公財)海上保安協会広島地方本部の助成により作製しています。

過去10年間(平成24~令和3年)の居眠り海難発生状況

海難事故69隻

乗揚海難 ▲

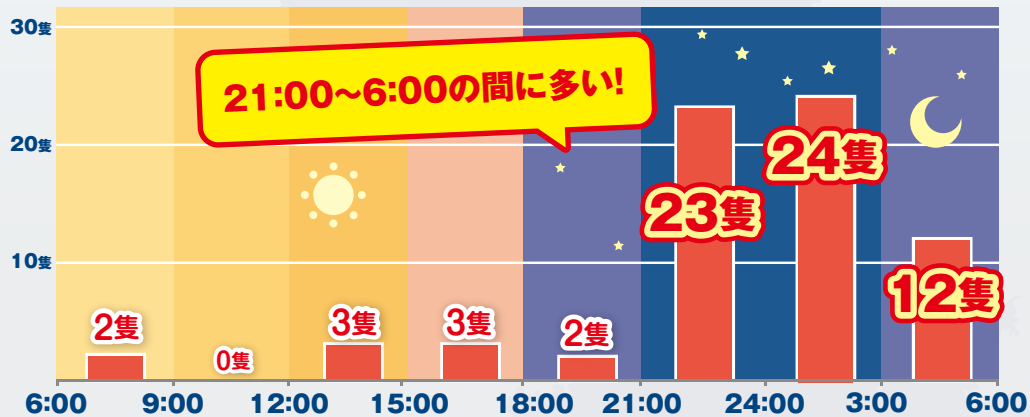
衝突海難 ■



夜間、1人当直で座ったままの操舵は

要注意!!

時間帯別 居眠り海難発生状況(69隻)



全船種の居眠り海難発生隻数(69隻)のうち状態別発生割合は

1人当直中 **97%!!**

座った姿勢 **67%!!**